

いばらき地域づくり人材育成講座(第3期)の受講生募集について

地域住民や地域づくり団体等の多様な主体の参加と連携による、個性的で活力ある地域づくりを推進するため、県では、下記のとおり「いばらき地域づくり人材育成講座」を開講することとしました。

本講座は、地域づくり活動の専門家や実践者の講義、また組織の活性化に役立つ「おこぜ理論」の学習や具体的事例(ケース)を題材としたグループディスカッション、さらにグループで設定したプロジェクトの検討などを通じて、地域の課題を自ら発見し、その解決のために地域の人材や資源をコーディネートできる地域づくりのリーダーの育成を目標としております。

8月2日を期限として受講生の募集を行いますので、情報提供いたします。

記

- 1 募集対象 県内に在住または勤務、在学する者
- 2 募集定員 30名程度
- 3 募集期間 8月2日(水)まで
- 4 受講料 無料(交通費等は自己負担)
- 5 受講期間 平成18年8月27日~平成19年2月4日の日曜日を利用し、全7回の講座
- 6 受講場所 主として茨城県三の丸庁舎(住所:水戸市三の丸1-5-38)で実施
- 7 カリキュラムの特徴(詳細は別紙)

この講座は、常磐大学コミュニティ振興学部の協力を得ながら、地域づくり活動の専門家や先進地の実践者を迎えた講義により、地域づくり活動に必要な専門技術の習得を目指します。

講義形式だけでなく、グループディスカッションやグループプロジェクトの検討を積極的に取り入れることで、地域の課題を自ら発見し、その解決のために地域の人材や資源をコーディネートできる地域づくりのリーダーに必要な能力を実践的に習得します。

地域づくりの人材育成経験豊富な学識者が指導・助言を行います。

講師:常磐大学大学院教授 吉永 宏氏(講座全体のコーディネーター)
常磐大学教授 西川 万文氏
常磐大学教授 中村 正之氏
常磐大学専任講師 岡嶋 宏明氏

- 8 申し込み方法 県企画部地域計画課へ、申込書等の必要書類を直接持参、郵送、またはE-mailで応募
- 9 申込書類の入手先 県企画部地域計画課ホームページまたは各地方総合事務所総務課企画振興室、県生涯学習センター、市町村企画担当課など
- 10 問い合わせ先 茨城県企画部地域計画課(地域支援グループ)
電話 029-301-2720
FAX 029-301-2738
E-mail chikei1@pref.ibaraki.lg.jp

いばらき地域づくり人材育成講座（第3期）受講生募集

【目的】

個性的で活力ある地域づくりを推進するため、住民、地域団体などの地域づくりを志す人々に対し、地域づくり活動の専門家・実践者の講義やグループワークなどを通じて、地域における課題の発見・解決能力や組織のマネジメント能力など、地域づくりのリーダーとして活動するにあたり必要な能力を専門的・実践的に学習します。

講座修了生の皆様には、県内外の地域づくり団体との連携・交流事業等に積極的に参加いただくことを期待しています。

【対象】

次の要件にあてはまる方を募集します。

- ・ 地域において各種の地域づくり活動を実践する方及び実践を志す方
- ・ 県内に在住または在勤、在学している全ての方
- ・ 実施するカリキュラムに全て参加できる方

【研修内容】

第1回～第4回（前半）を基礎講座、第4回（後半）～第7回を実践講座とします。

基礎講座では、講義や具体的事例を題材としたグループディスカッションによる専門技術の習得を目標とします。なおグループディスカッションのメンバーは、開催日毎、決定します。

実践講座では、複数のグループに分かれ、各グループ毎に設定する課題（活動目標）について検討していただきます。

講師の一方的な講義形式でなく、グループによる討議や課題研究を取り入れた講座です。

カリキュラム（予定） 時間：各回 10時～16時

日程	カリキュラム内容		講師
第1回 (8/27(日))	基礎講座	開講式 効果的学習展開のための環境設定 受講生の相互理解の促進 グループディスカッション……討議方法論	吉永教授 岡嶋講師
第2回 (9/10(日))	基礎講座	地域づくり活動における行政や他団体等との連携・協働 地域社会が求める魅力ある人材 問題にかかわる情報の明確化 グループディスカッション……おこぜ理論	吉永教授 岡嶋講師
第3回 (10/22(日))	基礎講座	問題発見と課題設定 情報の構造化と記述 グループディスカッション……問題と課題の共有	西川教授 岡嶋講師
第4回 (11/19(日))	基礎講座 ・ 実践講座	地域づくりとリーダーシップ 活動展開のための学習計画論 グループディスカッション……活動目標（テーマ）設定	中村教授 岡嶋講師
第5回 (12/17(日))	実践講座	県内先進事例視察研究調査 グループディスカッション……方策の検討	岡嶋講師 事例提供者
第6回 (1/14(日))	実践講座	地域づくり方策の検討 プロジェクトの具体的実践法 グループディスカッション……プレゼンテーション準備	吉永教授 岡嶋講師
第7回 (2/4(日))	実践講座	研究成果発表会 講座の全体評価、まとめ 閉講式	吉永教授 岡嶋講師

【講師】

吉永 宏（常磐大学大学院教授）（全体コーディネーター）
（プロフィール）

広島大学文学部哲学科卒。日本YMCA同盟広報室長。専門：市民活動・ボランティア・NPO論。「第1回世界青年の船」主任指導官兼団長、「青少年育成国民会議」副会長等々を歴任。阪神淡路大震災時、全国の災害救援ボランティア・団体コーディネーターとして活躍。「日本ボランティア学会」企画委員監事、「日本青少年育成学会」常任運営委員。
著書「響きあう市民たち-NPOとボランティア入門」(新曜社)他多数

西川 万文（常磐大学コミュニティ振興学部教授）
（プロフィール）

玉川大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程修了。専門：生涯学習論，社会教育論。日本生涯教育学会評議員，日本ボランティア学会会員。国立教育会館社会教育研修所研修指導主事，コミュニティ振興学部助教授を経て，2004年4月より現職。

中村 正之（常磐大学コミュニティ振興学部教授）
（プロフィール）

米国ピッツバーグ大学大学院言語学部修士課程修了。専門：生涯学習プログラム論。日本生涯教育学会会員。国立教育会館社会教育研修所専門職員，栃木県総合教育センター社会教育主事を経て2006年4月より現職。

岡嶋 宏明（常磐大学コミュニティ振興学部専任講師）
（プロフィール）

立正大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程修了。専門：企業環境論，環境経済学。日本地域学会幹事，国際地域学会会員，日本経済政策学会会員，緑の文明学会事務局長。2000年4月より現職。

【修了認定】

年間を通じ，全カリキュラムの課程のうち8割以上出席しており，かつグループディスカッション等に積極的に取り組んだ方に修了証を交付します。

【応募要領】

募集定員	30名程度
受講期間	平成18年8月から平成19年2月まで（年7回）
受講場所	茨城県三の丸庁舎 3階会議室 （水戸市三の丸1-5-38。JR水戸駅から徒歩7分） 1：公共交通機関をご利用ください（駐車場は有料になります） 2：第5回については先進事例の視察調査を予定しており，上記の場所以外で実施することもあります。
申し込み方法	受講希望者は，平成18年8月2日（水）までに，次の書類を下記の受講申込先へ，直接持参，郵送，またはE-mailで応募して下さい。
提出書類	受講申込書（所定の様式による。なお茨城県企画部地域計画課ホームページ『いばらき地域づくりねっと』からダウンロードすることができます。） HPアドレス： http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/kikaku/chikei/chikei_top.htm
選考	提出書類をもとに選考委員会の選考により決定します。 （選考結果については8月10日頃通知いたします。）
受講料	無料。 （ただし交通費，駐車場代などの費用は，受講生の方々に負担していただきます。）

【受講申し込み及び問い合わせ先】

茨城県企画部地域計画課 地域支援グループ 担当 丹
〒310-8555 水戸市笠原町978番6
電話 029-301-2720 FAX029-301-2738
E-mail chikei1@pref.ibaraki.lg.jp

(様式第1号)

いばらき地域づくり人材育成講座受講申込書

フリガナ 氏名	生年月日	大正・昭和	年	月	日生
		年齢 1	歳	性別	男・女	
現住所	〒					
	電話	F A X				
	E-mail					
勤務先・通学先 2	〒					
	電話	F A X				
地域づくり 活動の状況 3	地域でどのような活動に取り組んでいますか？ (これからの方は今後取り組んでみたいことを記入ください。)					
					
	(1)団体の名称：					
					
	(2)活動内容					
					
					
					
					
	上記の活動のなかで抱いている問題意識を記入ください。					
.....						

注)裏面の「記入上の注意」を参考に、表・裏面とも記入して下さい。

講座に期待すること	講座の受講により,どのような学習成果を期待していますか?

講座で取り組みたい課題 4	以下の ~ の課題から,第1希望,第2希望を選択してください。 課題 : 団塊の世代が活躍するまちづくり 課題 : 地域資源(自然・歴史・スポーツ etc.)を活用したまちづくり 課題 : 中心市街地の活性化,まちの賑わいづくり 課題 : 環境を通じた対話・交流のあるまちづくり 課題 : 福祉の行き届いた安心・安全なまちづくり 第1希望() 第2希望()
	(理由)
	----- ----- -----
パソコンの操作	できる(ワープロ・表計算・インターネット)・できない
この講座をどのようにして知りましたか(該当するもので囲んでください)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通知文を見て(通知文の送付元:) ・ 新聞・雑誌の記事を見て(新聞・雑誌名:) ・ 知人からの紹介 ・ HPを見て ・ その他()

記入上の注意

- 1 年齢は,平成18年4月1日現在の満年齢を記入して下さい。
- 2 勤務先は,可能な範囲で具体的に記入して下さい。
(主婦は主婦,無職は無職と記入して下さい)
- 3 地域づくり活動の状況については,できるだけ具体的に記入ください。
- 4 実践講座のグループについては,希望する課題,及び年齢・性別・地域づくり活動の経験等を勘案して選考します。希望どおりとならない場合がありますので,予めご了承ください。